

妖精の騎士

肩掛け飛ばすな 肩掛け飛ばすな
丘を越え はるか彼方
はるか彼方のノルウェーへ
風よ飛ばすな わたしの肩掛け

1 妖精の騎士が むこうの丘の上
バ バ バ リリイ バ
角笛を大きく高く吹き鳴らす
わたしの肩掛け飛んでった

2 東へ西へ
バ バ バ リリイ バ
思いのままに吹き鳴らす
わたしの肩掛け飛んでった

3 「あの角笛を この胸に
バ バ バ リリイ バ
あの騎士を この両腕に抱きしめたい」
わたしの肩掛け飛んでった

4 娘がつぶやき終えぬうち
バ バ バ リリイ バ
騎士がベッドにやって来た
わたしの肩掛け飛んでった

5 「まだ若すぎる 娘さん
バ バ バ リリイ バ
結婚なんて早すぎる」
わたしの肩掛け飛んでった

6 「年下のくせに 妹は
バ バ バ リリイ バ
昨日 結婚したばかり」
わたしの肩掛け飛んでった

7 「ぼくと結婚したいなら
バ バ バ リリイ バ
ぼくのお願ひ きけますか
わたしの肩掛け飛んでった

8 「シャツを一枚作ること
バ バ バ リリイ バ
切ったり縫ったりしないこと
わたしの肩掛け飛んでった

9 「ナイフもハサミも使わずに
針も糸も使わずに」
わたしの肩掛け飛んでった

10 「あなたのお願ひ きいたなら
わたしのお願い きいてちょうだい
わたしの肩掛け飛んでった

11 「肥えた草地を一エーカー
海のむこうに持つてるの
わたしの肩掛け飛んでった

12 「その角笛で耕して
麦の種をまいてちょうだい
わたしの肩掛け飛んでった

13 「石と糊で荷車作って
赤胸コマドリに引かせてよ
わたしの肩掛け飛んでった

14 「ねずみの穴に取入れ蓄え
靴底で脱穀してちょうだい
わたしの肩掛け飛んでった

15 「手のひらで風を送って もみがら払い
手袋に詰めてちょうだい
わたしの肩掛け飛んでった

16 「海を渡って 取れた麦を持って来て
濡らさないよう持って来て
わたしの肩掛け飛んでった

17 「みんなうまくやれたなら
そしたら シャツを渡ししょう」

わたしの肩掛け飛んでった

18

「手放すものか ぼくの肩掛け

バ バ バ バ リリイ バ

七人の子と妻に掛ける だいじな肩掛け」
風よ飛ばすな わたしの肩掛け

19

「だったら 処女は守るわよ

バ バ バ バ リリイ バ

あなたはどうぞ ご勝手に」
飛ばずにすんだ わたしの肩掛け

(中島久代訳)